

中国の食と農にいま何が起きているのか？

GDP世界第2位となった中国は、食料の生産大国から消費大国として、世界に大きな影響力を持つようになりました。伝統的な畜産物である豚肉に加え、牛肉の消費も増加しています。これらの需要を満たすために、大豆やとうもろこしなどの飼料に加えて、牛肉そのものの中国への輸入も急増しています。また、多様化・高級化する食生活の中で、加工食品や外食といった分野でも、外国資本の食品関連企業が中国に進出しており、日本企業もさまざまな販売戦略で、中国市場でのシェアを伸ばしています。本講演では、食料消費大国となった中国の食と農に起こっている変化と、その中で中国での市場を開拓している日本の食品関連企業の実績について紹介します。

【開催日時】 2023年1月26日（木） 15：00～17：00

【開催方法】 ZOOMウェビナーによるオンライン開催

※お申し込みいただいた方限定で配信URLをお知らせします

【申込方法】 裏面をご覧ください。 【参加費】 無料

開催の挨拶（15:00～15:10）

1 「中国人の食生活の変化と食料輸入の増加」（15：10～16：05）

龍谷大学農学部 食料農業システム学科 教授 竹歳 一紀

中国の1人当たり国民所得は約1万ドルに達し、大都市住民の生活は先進国水準に近づいてきています。それにともなって、食生活の内容も大きく変化し、畜産物の消費が増加しています。一方で、農業就業人口は減少を続け、畜産物やその飼料の供給が追いつかず、大豆をはじめ、とうもろこしや牛肉の輸入も急増しています。また、食品流通の面では、産直やネット販売が拡大しています。本講演では、このような中国で起こっている食と農の変化を紹介し、それがもたらす国際的な食料市場への影響についてもお話しします。



オーストラリア産牛肉

2 「中国市場における日系食品関連企業の販売戦略の分析」（16：05～17：00）

龍谷大学農学部 食料農業システム学科 講師 金子 あき子

日本の多くの食品関連企業が中国に進出しています。以前の中国は生産拠点でした。しかし、近年では著しい経済成長を遂げ販売のための市場として注目を集めています。中国市場において販路を開拓するには、現地の食習慣や商慣習への対応、販売チャネルの選定などの課題があります。本講演では、日本の食品関連企業にとって有効な戦略について、それらの企業の現地駐在員に対するヒアリング調査の結果をふまえて考察します。また、香港や台湾をゲートウェイとして中国へ進出する事例も紹介します。



広州のスーパーで販売されている即席麺

【注意事項】

- ・インターネットに接続されたスマートフォン、パソコン、タブレットでご参加頂けます。
※Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良い所での視聴をお願いします。
- ・講演をリアルタイムで配信し、質疑応答の時間も設ける予定です。
- ・締切日以降にメールにて受講用URLとパスワードをお送りいたしますので、メールに記載されているURLから受講してください。
- ・本講座の講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製並びに二次加工は一切禁止しております。
- ・通信状況等により視聴できない場合がありますことをご了承ください。
- ・配信終了後、アンケートを実施します。ご協力いただきたくお願い致します。

【参加申込について】申込締切日：2023年1月19日（木）

こちらのサイト (<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/biz-net-202205/>)
からお申し込みください。

また、以下のマツに必要事項をご記入の上、E-mailもしくはFAXでもお申し込みください。

E-mail : rec@ad.ryukoku.ac.jp FAX : 077-543-7771 (送付状不要)



テーマ	中国の食と農にいま何が起きているのか？		
会社名			
所在地	(〒 - -) (電話番号 - -)		
所属		役職	
氏名		E-mail	
所属		役職	
氏名		E-mail	

※1組織で3名以上ご参加される場合、お手数ですが本用紙をコピーしてお申し込みください。

※記入いただきました個人情報、本学プライバシーポリシーに基づき、厳重に管理いたします。ただし、本セミナーに関係する連絡等が共催先である公益財団法人 りそな中小企業振興財団から送付される場合がありますことをご了承ください。

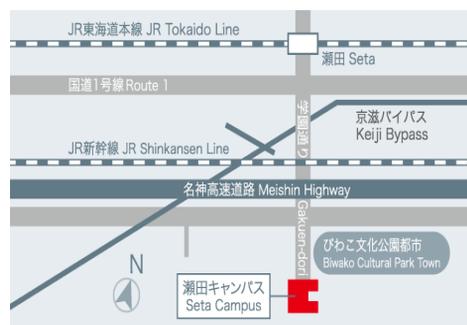


龍谷大学

龍谷エクステンションセンター (REC)

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5

TEL 077-543-7743 Fax 077-543-7771



交通機関でのアクセス

- JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学行き」乗車約8分
- 名神瀬田東・西ICから文化ゾーン方面へ約10分